

平成22年度周望学舎シニアカレッジ講義概要

7月27日（火）

10:45 ～ 12:15	エクセルシア、より高く！ (学長 植田浩司) 『エクセルシア』はラテン語で“より高く”の意味。創設時より西南女学院を導かれた原松太先生（院長1934～55）の座右の銘、ニューヨーク州の標語、有名なロングフェローの詩、そして音楽もあります。詩を読み、音楽を聴き、教育勅語時代・第2次世界大戦中・戦後の本学院のキリスト教教育の営みをお話しします。
---------------------	--

※8月3日（火）はAとBの2クラスに分かれ、クラスごとに受講することとなります。

8月3日（火）

9:00 ～ 10:30	世代を越えたコミュニケーション (福祉学科 講師 文屋典子) 大学生と受講生の皆さんとの交流の時間です。コミュニケーションの道具としての言葉の使い方について共に考えることを通して、「世代を超えたコミュニケーション」を体験していただきます。
10:45 ～ 12:15	楽しく脳力・体力づくり (福祉学科 教授 稲木光晴・栄養学科 教授 八木康夫) 頭とからだを健康に保つことは自立した生活を送る上で必要不可欠です。本講では、頭とからだを使ったレクリエーションを通じて、楽しく脳力・体力づくりを行います。

8月10日（火）

9:00 ～ 10:30	子どもの遊び、今と昔 (福祉学科 准教授 杉谷修一) 子どもの遊びは時代や社会とともに大きく移り変わってきました。あるものは消え去り、あるものは形を変えて今に生き続けています。遊びの今昔を通して子ども文化について考えます。
10:45 ～ 12:15	うつ病へのアプローチ～家族・友人がうつ病になったときのケア～ (看護学科 講師 前田由紀子) うつ病の回復には適切な医療と、家族や友人の支えが必要です。よく励ましてはいけないと言われますが、身近な人であればあるほど難しく迷うものです。今回は、家族や友人としてどのように接していくことが適切なのかについて考えます。

8月17日（火）

9:00 ～ 10:30	出番です！シニア世代は食育の無形文化財 <p style="text-align: right;">（生活創造学科 教授 池田博子）</p> 近年、家庭での食育が困難になり、食文化の継承も危ぶまれています。人生経験豊かなシニア世代は「知恵と技」の宝庫で、この宝を活用しないテはありません。様々な実践例を紹介し「食育」への関わり方について考えます。
10:30 ～ 12:15	新しいスイス史 <p style="text-align: right;">（福祉学科 教授 柳澤伸一）</p> シラーの戯曲で有名なウィリアム・テル。この伝説上の人物は、ハプスブルク家の君主を戴く神聖ローマ帝国（ドイツ王国）からの独立を達成するスイス史の象徴とされてきました。しかし、帝国からの独立を重視する伝統的なスイス史理解は揺らぎ始めています。スイス史の新しい理解についてお話しします。

8月24日（火）

13:00 ～ 16:10	「福祉用具プラザ北九州」見学会～小さなヒントは大きな力～ <p style="text-align: right;">（福祉学科 教授 岡田和敏）</p> 日常生活の中で、それまで出来ていたことが出来にくくなったり、出来なくなったりすることがあります。諦めることはなく、物によって解決することも多くあります。今回、福祉用具の説明と実際に触れることでヒントが得られると思います。
---------------------	--

8月31日（火）

9:00 ～ 10:30	大人が楽しむ絵本の世界 <p style="text-align: right;">（保育科 准教授 中島寿子）</p> この10年ほどの間に「絵本は子どもだけのものではない」「大人こそ絵本を」という考えのもと、様々な活動が生まれてきています。それはなぜなのか、実際に絵本の世界を一緒に楽しみ、味わいながら考えていきます。
10:45 ～ 12:15	イギリス文学作品世界への誘（いざな）い <p style="text-align: right;">（英語学科 講師 ブラウン馬本鈴子）</p> イギリスの主要な作家の中から数人（誰なのかは講義中に発表します）に焦点をあてて、文学作品の世界を覗いてみたいと思います。作品の舞台となる風景や時代背景、作家の人生観を垣間見つつ、イギリス文学作品世界へのバーチャル旅行へご一緒に出かけませんか。

9月7日（火）

9:00 ～ 10:30	筋肉の代謝から食事を考える (栄養学科 教授 尾上 均) 運動と栄養は、ともに人間の健康状態を左右する重要なファクターであり、我々が健康な日々を送っていくためには、運動と栄養が適切に連関しあっていることが重要です。本講義では、運動における主役たる臓器である筋肉の代謝を考慮に入れた食事を考察します。
10:45 ～ 12:15	学生と一緒にランチ・クッキング (栄養学科 准教授 内岡三枝子) 料理は、手と頭と五感を働かせて行う、老化防止には最適な創造活動です。喜んで食べていただければ一石二鳥。また、新しい料理を手軽においしく作るアレンジ能力はシニアならではのものです。人気のバーニャカウダと軽いパスタ、ゼリーを学生と一緒に作り、ランチタイムを楽しみたいと思います。エプロンと頭髪をおおう物をご用意ください。何でも結構です。

9月14日（火）

9:00 ～ 10:30	シニア世代の子育て支援 (助産別科 講師 上野恵子) 現代社会において、核家族化・少子化により育児に対する経験もサポートもないまま親になる夫婦が非常に多くなっています。そこで、かつて子育てを経験してきたシニア世代の方々に最近の育児について理解を深めて頂き、若い親達の育児不安を軽減する手助けができれば、社会に子育て支援の輪が広がっていくのではないのでしょうか。今回はシニア世代の子育て支援と題し、育児のノウハウについて演習をとおして理解を深めていただきます。
10:45 ～ 12:15	情報化社会を考える (英語学科 教授 山本廣基) 科学・技術の発展と共に情報化社会の進展は、これから先、益々加速します。大きな便利さが与えられた半面、底知れぬ恐怖を感じることもしばしばです。氾濫する情報の中で自己を見失いがちになることもあります。多すぎる情報に翻弄されずに、自分自身のあり様を考えることの意義は決して小さくはありません。一つの明快な解答がある訳ではありませんが、参加者の皆さんと一緒に考える機会にできれば幸いです。

9月21日（火）

9:00 ～ 10:30	映画でめぐる中国歴史の旅～「ラストエンペラー」 (観光文化学科 准教授 木沢誠名) 2000年続いた中国の最後の皇帝（ラストエンペラー）は、清朝の愛親覚羅溥儀でした。満州族であった溥儀は、辛亥革命によって廃位となった後も数奇な運命をたどります。日本が興した「満州国」の執政（皇帝）につかされ、日本人の妻を娶り2人の娘をもうけますが、日本の敗戦でソ連に抑留されます。抑留から中華人民共和国に戻された溥儀は、一市民としてその生涯を終えます。ハリウッド映画「ラストエンペラー」はその生涯を数々の歴史的事実をまじえて描いています。映画のシーンをベースに、溥儀にゆかりの地をその歴史とともに巡ります。
10:45 ～ 12:15	ハンドベルの世界へようこそ (キリスト教センター 田中由紀子&西南女学院ハンドベルクワイヤー) ハンドベルは、近年急速に普及して、日本でもクリスマスの風物詩として親しまれるようになりました。見てよし聴いて良しのハンドベルですが、本当の魅力は演奏することにあります。講座では、演奏体験を通してその魅力を味わっていただきます。楽譜の読めない方も大歓迎いたします。

9月28日（火）

9:00 ～ 10:30	明治、学校の誕生と一斉授業の開始 (看護学科 教授 松本裕司) 江戸時代の寺子屋における個別教授法から、近代学校の一斉授業への移行過程においては、多くの先人の努力や工夫がありました。明治における近代学校の誕生と意義を、授業方式の側面から考えます。
10:45 ～ 12:15	栄養と心身のリフレッシュ (栄養学科 准教授 坂巻路可) 本講義では肥満の改善や精神面のリフレッシュを目指し、私たちの生体内で起こっている現象を多角度から理解します。また普段の食事に取り入れやすい食材や献立を紹介します。